

大沢温泉

1. 目指すき景観像

伊豆半島を代表する 歴史と自然を誇る大沢温泉



① 歴史・文化の香る風情ある景観



② 桜並木や良質な温泉を有する自然



③ 歴史、自然景観を守る住民活動

大沢温泉は、「歴史・文化の香る風情ある景観」、「桜並木や良質な温泉を有する自然」及び「歴史、自然景観を守る住民活動」の3つの側面があるため、それぞれについて地域特性及び景観づくりを進める方向性を整理します。

① 歴史・文化の香る風情ある景観

(1) 歴史



300年の歴史を誇る旧依田邸を代表とする歴史

大沢温泉地域には、約300年前の江戸時代中期元禄期に建てられ、国の登録有形文化財や静岡県の指定有形文化財に指定されている旧依田邸を始め、「道の駅」花の三聖苑伊豆松崎に復元された明治6年開校の小学校「大沢学舎」や川舟の歴史が書かれた石碑、偉人の石像など歴史を感じる景観が多くあります。

これらの貴重な歴史的景観を後世に残し、その価値を来訪者に見てもらえるようにするため、老朽化が見られる施設は適切に管理、改修を行うとともに、見やすく統一された案内板やサイン看板を整備する必要があります。

また、これらの歴史ある景観を自らが守っていくという住民の意識醸成を図る必要があります。

(2) 観光



町の核となる観光文化交流拠点

大沢温泉地域の代表的な施設として、平成3年にオープンし、平成7年に県内3番目の道の駅に登録された、「道の駅」花の三聖苑伊豆松崎があります。

町では、多様化する観光ニーズに応えた環境づくりによる交流人口の拡大、地域の活性化を目的として、道の駅から旧依田邸を含めた周辺一帯の整備を総合的に推進する「松崎町道の駅パーク構想基本計画」を平成30年2月に策定しました。今後、計画に沿って施設（物産直売所、駐車場、案内表示、レストラン、資料展示・イベントスペース、トイレ、庭園、温泉施設等）の整備・改修をし、来訪者が道の駅から旧依田邸を巡ることにより、歴史・自然を楽しめる新たな観光スポットを目指します。整備にあたっては、文化財施設を代表とする歴史的景観や自然景観に配慮し、高さや色彩、材料への配慮が必要です。



〈景観形成の主な課題〉

- ・文化財施設の老朽化
- ・施設の案内や歴史の紹介をする案内板やサイン看板の不足
- ・RC構造の大規模宿泊施設やトタン屋根など歴史的景観にそぐわない施設
- ・住民の保存活動に対する意識醸成
- ・歴史的景観や自然景観とマッチした誘客施設

② 桜並木や良質な温泉を有する自然

(1) 自然



那賀川沿いの桜並木

大沢温泉周辺の川沿いには、樹齢60年余の桜の大木が川面を覆うように咲き誇っています。80年程前に、地元大沢の青年たちが“将来大沢を桜並木の温泉場にしよう”という夢を抱いて、ソメイヨシノの苗木を植えたと言われています。松崎町でも代表的な桜の名所であり、住民や来訪者を楽しませています。

近年、桜の老木化が懸念されていますが、桜並木の景観を保全していくために、樹木診断等を行い、危険樹の撤去や適切な保護をしていくと同時に、新たな桜の名所づくりに取り組む必要があります。

良質な温泉

大沢温泉の源泉は、300年の歴史を持ち、その透き通ったお湯は、肌を滑らかにする“化粧の湯”として親しまれています。しかし、多数あった温泉宿も減少しているため、現在ある入浴施設をよりPRするとともに、温泉の活用について検討する必要があります。

(2) 観光



「道の駅」花の三聖苑伊豆松崎と旧依田邸を繋ぐ遊歩道

この付近の那賀川沿いは、護岸整備がされていない河川敷であり、歩いて巡るには最適な自然景観を有しています。気持ちよく歩ける遊歩道とするために、景観を阻害している古い看板を撤去し、桜並木と河川の自然景観に配慮した案内看板の設置が必要です。また、夜間歩く人を考慮し、星空をなるべく邪魔しないフットライトなど、高さ、照度を考慮したものの整備を検討します。

視点場の整備

周辺的那賀川沿いは、休憩しながら景色を楽しむ場所が少ないため、座って桜並木や川沿いの景観を眺めるための休憩施設（ベンチ）の設置が必要です。また、大沢山神社裏の大沢砦は、小高い山であり、付近を見渡すのに絶好のポイントにあります。この付近の美しい景観を見渡せる絶景ポイントとしての活用を検討します。



〈景観形成の主な課題〉

- ・桜並木の景観を残していきたいが、河川敷への植樹は治水上の安全面からできない
- ・温泉に入れる施設（宿）が減っている。
- ・案内看板や注意看板が汚いものやしっかりと設置されていないものが多い
- ・道の駅や旧依田邸を案内した看板がない
- ・照明設備が少ないため夜間歩くには危険
- ・休憩しながら景色を楽しめる施設（ベンチ）や眺望ポイントがない

③ 歴史、自然景観を守る住民活動

(1) 地域活動



地域住民による景観保全活動

大沢温泉地域では、区民や松崎町花の会など地域住民による清掃活動や花植え活動が定期的に行われているため、いつでも綺麗な通りや河川敷、季節に応じて植え替えられる花を見ることができます。また、春には、ソメイヨシノの桜並木に竹短冊が吊るされる大沢桜祭りや、道の駅で行われる三聖まつりなどのイベントが開催されており、来訪者を楽しませてくれています。

地域住民が楽しみながら景観保全活動に参加できるようにするため、花植えについてはありきたりな花だけでなく、松崎町花の会が定期的に行う民具などを利用した花飾り教室の開催、展示など工夫した取組が必要です。こうした取組により、訪れる人も楽しめる場とすることで、住民の活力向上を図ります。

景観保全に対する教育

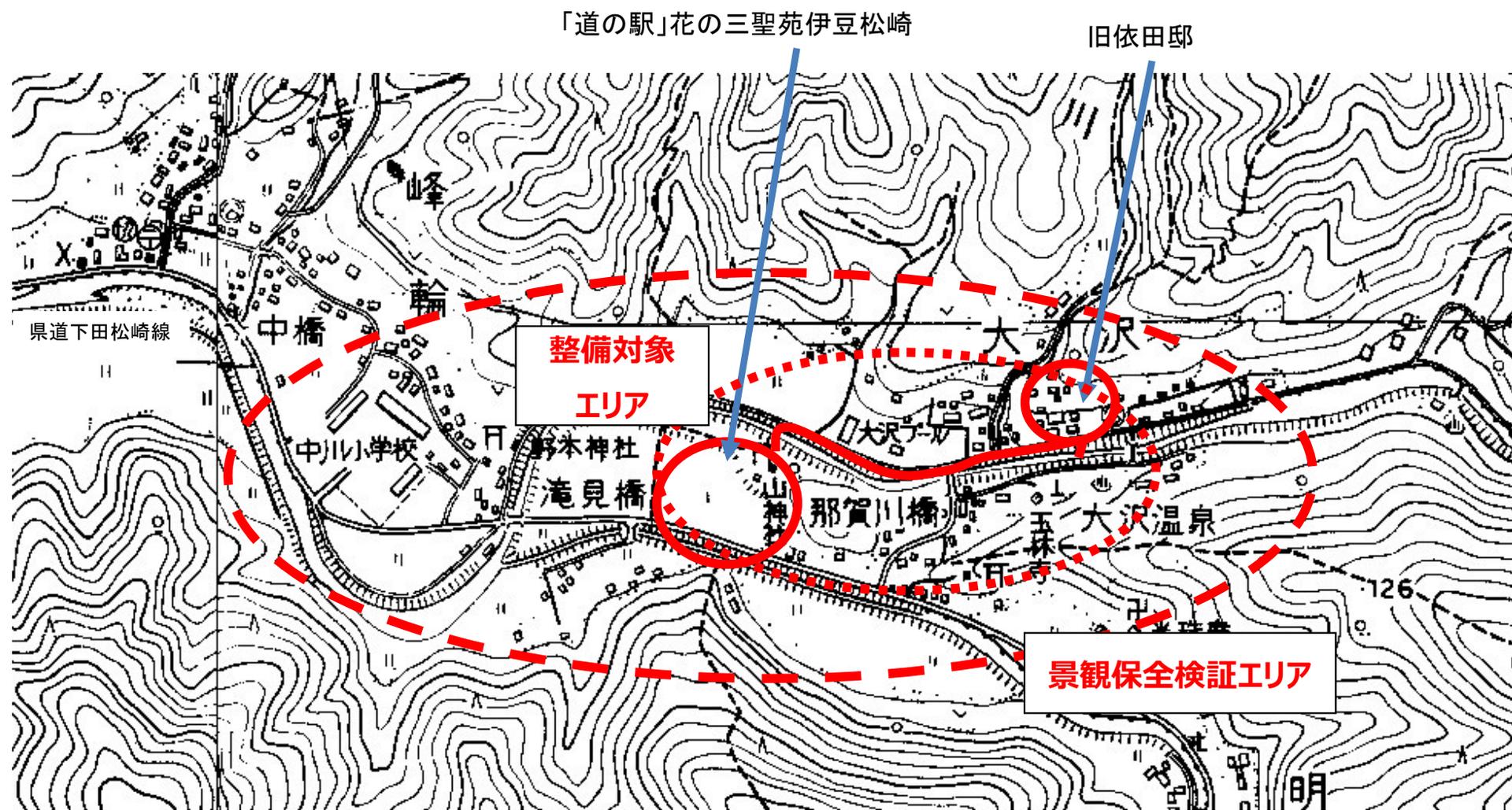
「道の駅」花の三聖苑伊豆松崎では、定期的に行われる花の植替えの際に、子供と一緒に植え方を教えながら行っていたり、年1回、小学生を対象に、3泊4日で大沢温泉地域を中心とした土地の歴史や自然を学ぶ「三聖塾」を開催しています。

近年では、少子高齢化により景観保全に係る住民活動も担い手不足が課題となっています。地域の資源や魅力に対する理解の醸成を図り、景観保全活動を次世代へ継承していくため、歴史、自然資源が多くあるこの地域を景観教育の実践の場として活用していく必要があります。

〈景観形成の主な課題〉

- ・住民活動が重荷になっている。
- ・例年似たような花を植えており、マンネリ化している。
- ・少子高齢化による担い手不足により地域の活力が低下している
- ・地域の資源や魅力に対する理解不足
- ・景観保全活動の次世代への継承が必要

3. 対象エリア



整備対象エリア・・・本計画により景観整備を行っていくエリア

景観保全検証エリア・・・今後、整備対象エリアに加え、景観保全について検証していくエリア



地域特性や景観づくりの方向性から、景観目標と景観づくり方針を整理します。

伊豆半島を代表する 歴史と自然を誇る大沢温泉

目標 1

歴史・文化を巡って楽しむ
景観づくり

景観づくり方針

- ①歴史・文化を伝える場づくり
- ②訪れたくなる、巡りたくなる仕掛けづくり

目標 2

自然と歴史を満喫できる
景観づくり

景観づくり方針

- ①自然と歴史を感じるプロムナードづくり
- ②のんびり景色を楽しめる場づくり

目標 3

歴史、自然景観を次世代に
繋ぐ場づくり

景観づくり方針

- ①住民が楽しみながら活動できる仕組みづくり
- ②次世代に繋ぐ景観教育の実践の場づくり

目標1 歴史・文化を巡って楽しむ景観づくり

方針1-① 歴史・文化を伝える場づくり

	取組み	実施主体
短期	<ul style="list-style-type: none"> ●文化財施設の保全計画作成 ●地域の歴史・文化をまとめた資料（パンフレット）の作成 ●地域住民による案内ボランティア、清掃活動への協力 	<ul style="list-style-type: none"> ●町、地域住民 ●町 ●地域住民
中・長期	<ul style="list-style-type: none"> ●歴史・文化を伝える資料展示・イベントスペースの設置 ●老朽化の見られる文化財施設の改修 ●景観にそぐわない施設の撤去 	<ul style="list-style-type: none"> ●町 ●町 ●町

方針1-② 訪れたいくなる、巡りたいくなる仕掛けづくり

	取組み	実施主体
短期	<ul style="list-style-type: none"> ●歴史的景観、自然景観に配慮した駐車場の整備 ●老朽化したトイレや温泉施設の整備・修景 ●巡って楽しめるコースに誘導するサイン看板の設置 ●座って花木を楽しむベンチの設置 	<ul style="list-style-type: none"> ●町 ●町 ●町 ●町
中・長期	<ul style="list-style-type: none"> ●来訪者が楽しめる誘客施設（直売所、温泉施設、レストランなど）の整備 ●ホテルが飛び交う庭園の整備・管理 	<ul style="list-style-type: none"> ●町 ●町、地域住民

目標2 自然と歴史を満喫できる景観づくり

方針2-① 自然と歴史を感じるプロムナードづくり

	取組み	実施主体
短期	<ul style="list-style-type: none"> ● 自然景観にそぐわない古くなった看板の撤去 ● 自然、歴史を紹介した案内板の設置 	<ul style="list-style-type: none"> ● 町 ● 町
中・長期	<ul style="list-style-type: none"> ● 美しい河川景観の保全や温泉の活用の検討に向けた住民意識の醸成(勉強会) ● 自然、歴史に調和した舗装の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域住民、町 ● 町

方針2-② のんびり景色を楽しめる場づくり

	取組み	実施主体
短期	<ul style="list-style-type: none"> ● 座って景色を楽しむための休憩施設(ベンチ等)の設置 ● 桜の樹木診断等による危険樹の撤去、保護に関するルールづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ● 町 ● 町、地域住民
中・長期	<ul style="list-style-type: none"> ● 大沢砦を活用した眺望ポイント(視点場)の整備 ● 眺望ポイントを繋ぐ回遊ルートの整備 ● 星空に配慮した照明設備(フットライト)の整備 ● 新たな桜の名所づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ● 町 ● 町 ● 町 ● 町、地域住民

目標3 歴史、自然景観を次世代に繋ぐ場づくり

方針3-① 住民が楽しみながら活動できる仕組みづくり

	取組み	実施主体
短期	<ul style="list-style-type: none"> ● 楽しむ景観保全活動の実践に向けた企画検討 ● 花飾り教室の開催、展示 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域住民、町 ● 地域住民、町
中・長期	<ul style="list-style-type: none"> ● 既存イベントの工夫、見直しの検討 ● 訪問者も巻き込んだイベントや清掃活動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ● 町、地域住民 ● 町、地域住民

方針3-② 次世代に繋ぐ景観教育の実践の場づくり

	取組み	実施主体
短期	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域の歴史・文化を学ぶ勉強会 ● 既存で実施している花植え活動や三聖塾の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ● 町、地域住民 ● 町、地域住民
中・長期	<ul style="list-style-type: none"> ● 川遊びや魚釣りなど自然を活かした体験学習 ● 地域の歴史・文化・自然を伝えられる人材育成 	<ul style="list-style-type: none"> ● 町、地域住民 ● 町

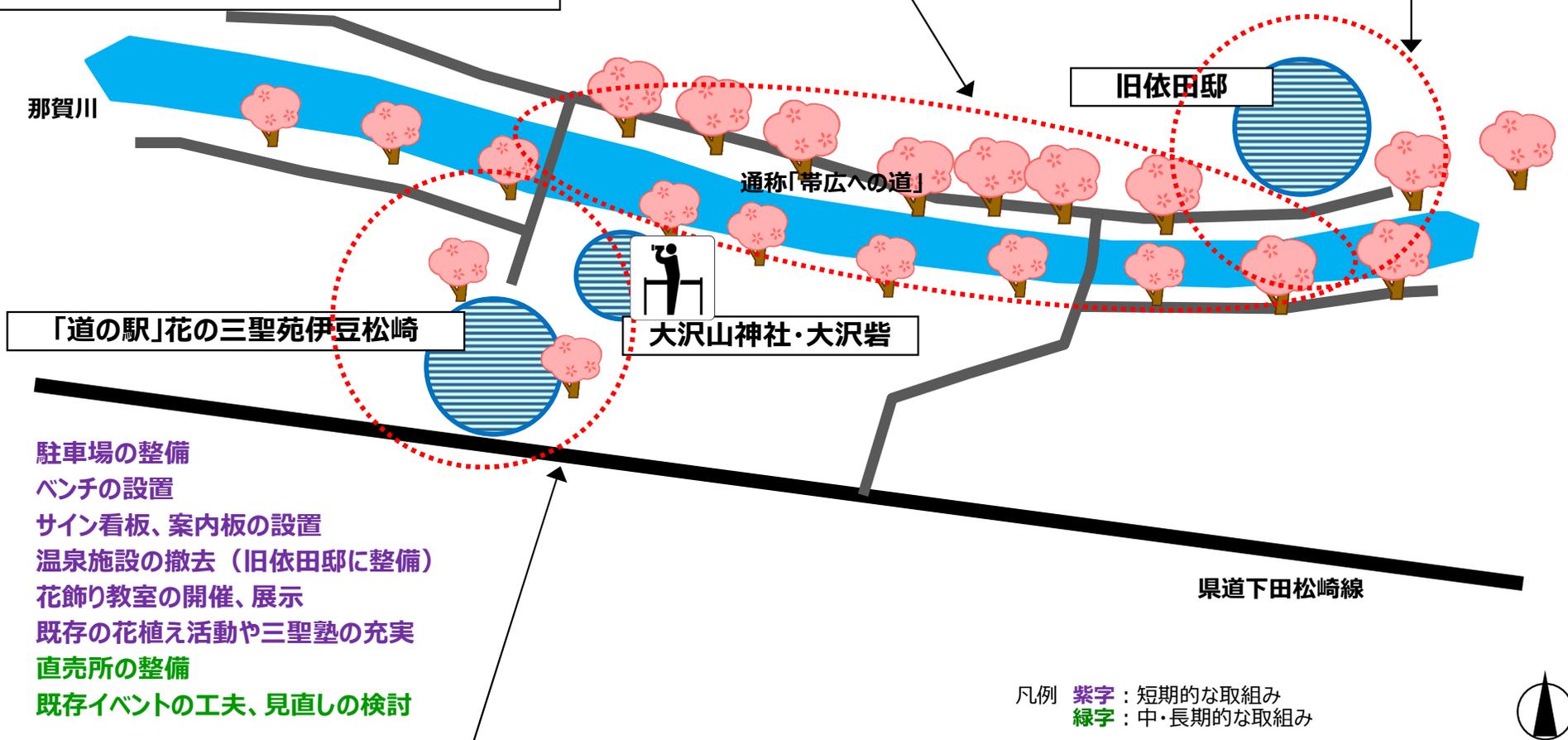
6. 景観施策(案)のイメージ図

全体

地域の歴史・文化をまとめた資料の作成
 地域住民による案内ボランティア、清掃活動への協力
 自然景観にそぐわない古くなった看板の撤去
 楽しむ景観保全活動の実践に向けた企画検討
 地域の歴史文化を学ぶ勉強会
 景観に対する住民意識の醸成
 眺望ポイントを繋ぐ回遊ルートの整備
 訪問者も巻き込んだイベントや清掃活動の実施
 自然を活かした体験学習
 歴史・文化・自然を伝えられる人材育成

古くなった看板の撤去
 危険樹の撤去、保全ルールづくり
 サイン看板、案内板の設置
 ベンチの設置
 眺望ポイントの整備
 自然、歴史に調和した舗装の整備
 星空に配慮した照明設備の整備
 新たな桜の名所づくり

文化財施設の保全計画作成
 歴史的景観、自然景観に配慮した駐車場の整備
 老朽化したトイレや温泉施設の整備・修景
 歴史・文化を伝えるスペースの設置
 老朽化の見られる文化財施設の改修
 景観にそぐわない施設の撤去
 誘客施設の整備
 ホタルが飛び交う庭園の整備・管理



駐車場の整備
 ベンチの設置
 サイン看板、案内板の設置
 温泉施設の撤去（旧依田邸に整備）
 花飾り教室の開催、展示
 既存の花植え活動や三聖塾の充実
 直売所の整備
 既存イベントの工夫、見直しの検討